

熊本市スポーツ振興基金激励金が変わります!

2020年に開催される東京オリンピックに向け、スポーツに対する機運が高まっています。本市も、特に若い世代(小・中・高校生)の優秀な選手、活躍が期待できる選手がより活動しやすい環境づくりを目的とし、スポーツ振興基金大会出場激励金の制度が新しくなりました。

①国際大会出場激励金

対象者	交付対象大会	金額	
<ul style="list-style-type: none"> ■市内に住むか通勤・通学する小学生以上の個人 ■市内の小・中学校・高校・大学・事業所に籍を置く団体 	オリンピック、パラリンピック、スペシャルオリンピック	10万円	
	世界選手権大会、ユニバーシアード、アジア大会 その他 これに準じる大会	世界規模	5万円
		アジア規模	3万円(日本国内で開催される場合には1万円)

②全国大会出場激励金

対象者	交付対象大会	金額
<ul style="list-style-type: none"> ■学校教育活動外のスポーツ大会に出場する市内に住むか通学する小・中学生の個人もしくは団体 ■市内に住むか通学する高校生または、市内の高校に籍を置く団体 	<ul style="list-style-type: none"> ■日本体育協会加盟団体(準加盟は除く)が、主催もしくは、主管する大会。 ■予選を経たスポーツ競技に関する大会または、予選大会で優秀な成績を収めた個人・団体で各競技協会(連盟)などの推薦するもの。 ※中体連、インターハイ、国民体育大会を除く。	個人:1人につき5,000円 団体:出場者数×5,000円(上限50,000円) ※開催地が九州内の場合、2分の1の金額

※同一個人・同一団体に対する全国大会出場激励金の交付は、同一年度内1回までです。ただし、国際大会出場激励金はこれに限りません。

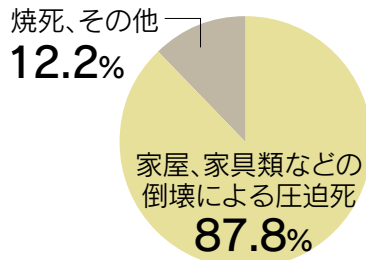
申込み 申請書などに必要事項を記入し、大会参加前(開会式の前日)までに、持参または郵送で〒860-8601スポーツ振興課へ

詳しくは、市ホームページまたはスポーツ振興課(☎096-328-2724)へ。

あなたの「お住まい」は安全ですか? 阪神・淡路大震災から20年

未曾有の大災害となった阪神・淡路大震災から20年が経ちました。明け方に発生した震度7の大きな揺れにより、約25万棟の家屋が全半壊し、6,434人の尊い命が犠牲となりました。犠牲者の約9割は、家屋の倒壊や家具の下敷きによる圧迫死などで亡くなっています。倒壊した建築物の多くが、昭和56年以前の旧耐震基準で建てられたものであったことが明らかになり、建築物の耐震化の重要性が再認識されています。

震災による死因内訳



※写真は消防科学総合センターより

全半壊した木造建築物の建築時期



昭和56年以前に建てられた木造建築物の被害状況



お住まいの耐震診断をしてみませんか

耐震診断(一般診断)

住宅の床下と天井裏などから、目視で調査を行い、図面や聞き取りから得られた情報と合わせて、耐震性の有無を診断します。



募集戸数:131戸程度(先着順)
 診断に要する費用:一戸あたり **5,500円**

対象となる住宅の条件

- ・市内にある、人が住んでいるまたは住む見込みがある平屋建てもしくは2階建ての戸建木造住宅
- ・昭和56年5月31日以前に着工したもの
- ※その他にも条件があります。

耐震性なし

※精密診断を実施する場合の補助事業もあります
 補助額:費用の2/3以内(上限額8万6千円)
 募集戸数:10戸程度(先着順)

補強計画・設計

耐震改修工事の補強案と設計図の作成にかかる費用の一部を補助します。

補助額:費用の2/3以内(上限額10万円)
 募集戸数:27戸程度(先着順)

※精密診断の場合は上限額6万4千円

耐震改修工事

耐震改修工事とその工事監理にかかる費用の一部を補助します。

補助額:費用の1/2以内(上限額60万円)
 募集戸数:35戸程度(先着順)

補助事業の申込み 5月21日(木)から受け付けます
 受付開始前に、補助事業説明会を開催します。

補助事業説明会 **無料**

日時 5月17日(日)、18日(月) 午後1時半~
 場所 市役所別館自転車駐車場 8階会議室
 ※説明会への参加の申込みは不要です。
 ※説明会に参加できない場合は個別説明を行います。

詳しくは、建築計画課 建築物安全推進室(☎096-328-2449)へ。

熊本で起こり得る地震

熊本県内にある断層のずれによって引き起こされる地震は、震度5弱から6強と予想されています。また南海トラフによる地震では、震度5強の揺れが起こると考えられています。

地震から身をまもるために

住宅の耐震化や家具の転倒防止策など、地震が起きる前の対策が大切です。

住宅の耐震性の有無は、建築年、形状、壁の量、屋根の種類、傷み(劣化)の度合いなどにより判断することができます。

